

科目名	単位数	学年	必修・選択	備考
発展数学	6	3	選択	理型

1. 科目の概要・学習目標

数と式, 図形と計量, 2次関数及びデータの分析について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察する能力を培い, 数学のよさを認識できるようにするとともに, それらを活用する態度を育てる。場合の数と確率, 図形の性質または整数の性質について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察する能力を養い, 数学のよさを認識できるようにするとともに, それらを活用する態度を育てる。

2. 成績・評価・観点の割合（観点別評価の重みもここで記載）

(1) テスト：提出物等＝85：15

(2) 評価は「定期考査・確認テスト・提出物・振り返りシート・授業態度」を数値化して行う。

1、2学期は素点を付け、学年末には5段階評価を付ける。

【年間の評価方法】

1, 2, 3学期評価（100点満点）を平均して算出し、5段階の評定に換算する。

80点以上…5, 79～65点…4, 64～50点…3, 49～35点…2, 34点以下…1

3. 使用教科書・副教材

(1) 改訂版 高等学校 数学I（数研出版）、改訂版 高等学校 数学A（数研出版）

(2) 共通テスト対策 [実力養成] 数学I・A・II・B 基礎徹底演習

4. 授業展開・形態・方法（授業の進め方、受講に当たって臨む態度、少人数・習熟度など）

3クラス開設。標準クラスは基礎基本の定着を図る。応用クラスは発展的な内容の演習も行う。

間違いや正解の両方の思考を楽しむ気持ちで受講に臨んで欲しい。

5. 学習方法・学習のポイント（自学の進め方、予習・復習の方法など）

スタディーサプリや副読本を活用し、きちんと家庭学習を行うこと。